

# 令和4年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

産学官のすべての研究者に開かれた研究設備・機器の実現に向けて、大学・研究機関の先進的な取組を紹介し、前半は、「**先端研究設備プラットフォームプログラム**」に関して、国内有数の先端的な研究施設・設備において、全国的なプラットフォームを形成することで、我が国の研究開発基盤の持続的な維持・発展に貢献する活動、後半は、「**コアファシリティ構築支援プログラム**」に関して、大学・研究機関全体として、研究設備・機器群を戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化するための活動を紹介し、

**日時** 令和5年1月25日（水）13時30分～17時45分

**会場** オンライン開催（Zoom予定）

**締切** 令和5年1月18日（水）



**主催**

文部科学省

**共催**

研究基盤イノベーション分科会（IRIS）  
研究基盤協議会（CORE）

----- プログラム -----

**13:30 ~ 13:35 開会挨拶** 文部科学省 科学技術・学術政策局長 柿田 恭良

**13:35 ~ 14:30 「先端研究設備プラットフォームプログラム」（発表7分・質疑応答3分×4機関）**

～取組による成果及びデータ共有・利活用への発展について～

NMR-PF	木川 隆則	（理化学研究所 細胞構造生物学研究・チームリーダー）
顕微イメージングソリューションPF	塚本 尚義	（北海道大学・理学院/創成研究機構・教授）
パワーレーザー-DX-PF	藤岡 慎介	（大阪大学 レーザー科学研究所・副所長/教授）
研究用MRI共有PF	齋藤 茂芳	（大阪大学 医学系研究科・准教授）

14:30 ~ 14:35 休憩（5分）

**14:35 ~ 14:45 「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドラインについて」（仮）**

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

**14:45 ~ 16:50 「コアファシリティ構築支援プログラム」**

～共用ガイドラインの各観点における取組状況や課題について～

テーマ① 戦略的設備整備・運用計画の策定と活用（発表6分・質疑応答3分×3機関）

東京農工大学	箕田 弘喜	（学術研究支援総合センター 機器分析施設長、大学院工学研究院 教授）
金沢大学	中村 慎一	（理事（研究・社会共創・大学院支援担当）/副学長）
広島大学	楯 真一	（大学院統合生命科学研究科 教授）

テーマ② チーム共用の推進と共用体制の確立（発表6分・質疑応答3分×3機関）

東北大学	中山 啓子	（コアファシリティ統括センター 副センター長、テクニカルサポートセンターセンター長、総長特別補佐）
信州大学	向 智里	（理事（研究、産学官・社会連携担当）、副学長）
琉球大学	平井 到	（研究基盤統括センター 副センター長/医学部 教授）

テーマ③ 人材の観点（技術職員の活躍促進、人材確保等）（発表6分・質疑応答3分×3機関）

東京工業大学	渡辺 治	（理事・副学長（研究担当）/オープンファシリティセンター長）
長岡技術科学大学	田中 諭	（分析計測センター・副センター長）
大阪大学	古谷 浩志	（コアファシリティ推進室 副室長/科学機器リノベーション・工作支援センター 准教授）

テーマ④ 財務の観点（利用料金の設定・活用、機器の維持メンテナンス予算の確保等）（発表6分・質疑応答3分×3機関）

早稲田大学	若尾 真治	（理事（研究推進担当））
名古屋市立大学	中川 秀彦	（共用機器センター長）
筑波大学	新井 達郎	（オープンファシリティ推進機構副機構長/特命教授）

**16:50 ~ 17:40 パネルディスカッション（3機関）（50分）**

テーマ：「**共用ガイドラインの活用と持続可能な発展に向けて**」

ファシリテーター：東京工業大学	江端 新吾	（総括理事・副学長 特別補佐/教授）
パネリスト：北海道大学	網塚 浩	（技術支援・設備共用コアステーション(CoSMOS) ステーション長/GFCセンター長 教授）
東海国立大学機構	古賀 和司	（統括技術センター 技術支援統括室長）
山口大学	上西 研	（理事・副学長（学術研究担当））

**17:40 ~ 17:45 閉会挨拶** 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課 課長補佐 林 周平

参加申込方法

<https://iris.kagoyacloud.com/riexpo2023/>

